

SECURITY GUIDE

セキュリティー ガイド

オルフィスGNシリーズ用



■ ごあいさつ

高速フルカラープリンターオルフィスシリーズは、データを機器内でデジタル処理することができます。機器内にデータを蓄積するため、情報漏洩防止の観点から適切に管理を行っていただきますようお願いいたします。

また、オルフィスはネットワーク接続機器でもあるため、ネットワーク接続のリスクの観点からも同様に管理が必要です。各機種にはセキュリティーの機能が搭載されており、適切な設定方法によりセキュリティーリスクを低減することができます。

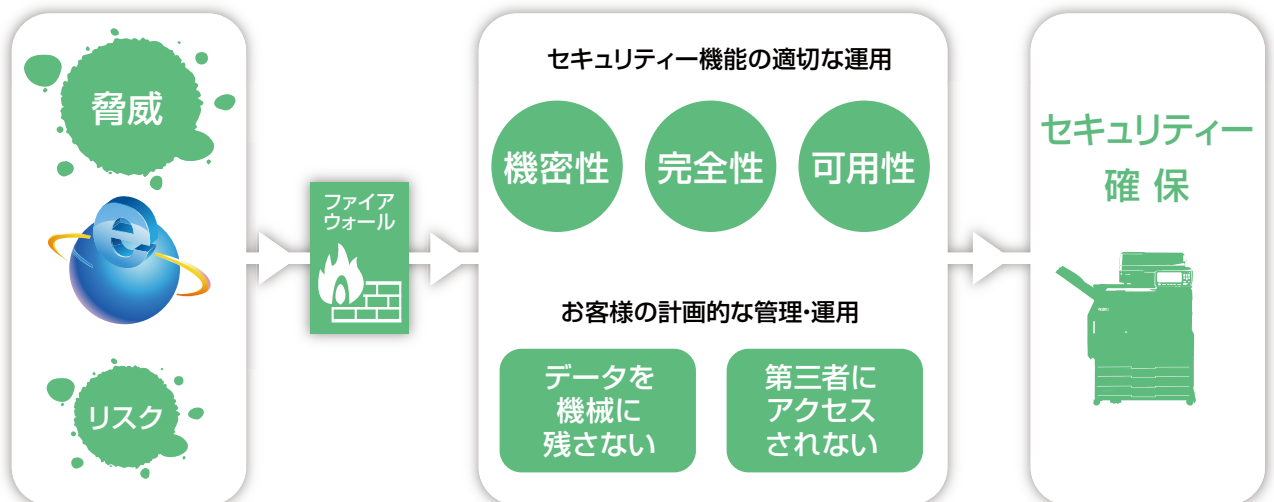
■ 目次

1	セキュリティー対策	02
2	セキュリティー機能	02
3	管理者の役割	03
4	改ざんや不正アクセスに対する安全性	03
5	ユーザー認証	04
6	管理者パスワード	05
7	ユーザーデータ保護	06
8	各種機能制限	07
9	ネットワーク保護	08
10	不正操作追跡	09
	脆弱性開示ポリシー	10

1. セキュリティー対策

お客様の情報資産を漏洩や改ざんのリスクから守るために、お使いの機器について正しいご理解と運用が重要です。セキュリティー機能の適切な運用により、**機密性**（漏洩のないこと）・**完全性**（改ざんのないこと）・**可用性**（必要なときに使えること）の環境を保つことができます。

データを機器に残さない、第三者にアクセスされないよう、お客様のセキュリティー方針に基づいた計画的な管理・運用が望まれます。



2. セキュリティー機能

オフィスシリーズの各機種にはセキュリティーを確保するための機能が搭載されており、適切な設定をすることで利便性を高め、リスクの低い運用ができます。お客様の求めるセキュリティーレベルに合わせた設定で運用いただくため、各種機能をご紹介します。

3. 管理者の役割

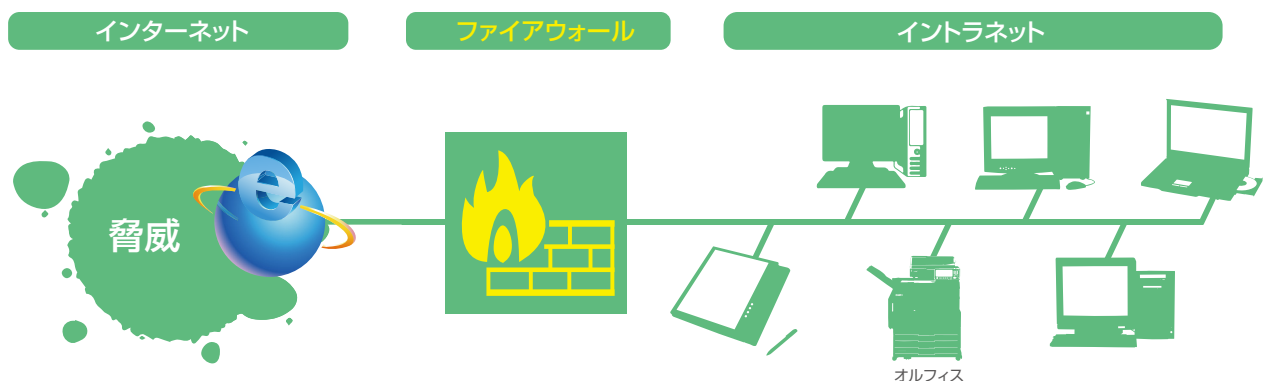
管理者は、セキュリティー方針に基づいた適切な運用が行われるよう、機器の管理を行います。

お使いの機器は、管理者が管理できる環境に機器を設置し、パスワード設定運用に関わる初期値登録を行い、正しく運用されているかを継続的に確認することが望めます。なお、守るべき情報資産へのアクセス権限の設定には、管理者権限が必要です。

4. 改ざんや不正アクセスに対する安全性

第三者からのアクセスが許可された状態での運用は、改ざんや情報流出のリスクが高まります。本機に保存するジョブに暗証番号を付与したり、適切なアクセス権を設定することで、リスクを低減する場合があります。

ファイアウォールの内側からネットワーク接続することで、外部からの不正侵入リスクを低減できます。機種により、ネットワーク環境に応じた接続先の制限設定や通信の暗号化ができる場合があります。



5. ユーザー認証

本機の操作の際に、ログインを必要とするか設定することができます。この機能により、あらかじめ登録されているユーザーがログインしたときだけ特定の操作を許可します。ユーザー管理（管理者による登録・設定）や自動ログアウト時間の設定が必要です。

【ログイン画面のイメージ】



ログイン方法には、操作パネルからのパスワード入力のほか、オプションのICカード認証キットを使用してログインする方法もあります。

認証方法には、機器内部にユーザー登録して認証するほか、外部サーバーでの認証方法もあります。外部サーバーを利用すれば、認証とユーザー管理を集約できます（一部標準機能に制限が発生します）。ユーザー認証にパスワードを使用する場合は、パスワードは8文字以上の設定が必要です。

6. 管理者パスワード

工場出荷時の初期値として管理者ユーザー（Admin）が1つ設定されています。管理者権限をもつユーザーでログインして管理者設定に入ると、機器の各種初期設定を行うことができます。

【パスワード入力画面のイメージ】



この場合、利便性を過度に重視したセキュリティの低い運用に変更してしまうことも可能です。管理者以外の方が各種初期設定を変えられないように、必ず管理者ユーザーにはログインパスワードを設定することで、お客様のセキュリティ方針に基づいた適切な運用が可能になります。

ただし、管理者パスワードを忘れると設定変更ができなくなりますので、副管理者を任命・登録するなどのバックアップ体制を取ることをお勧めします。

詳しくは 

[ユーザーズガイド | 管理者を設定する | 管理者パスワードの設定]

7. ユーザーデータ保護

ジョブのプリント等の操作を他人に行わせたくないときは、「暗証番号をつける」機能を設定すれば、ジョブ操作の際にジョブにつけた暗証番号入力が必要になります。さらに、プリントのジョブ名を見られたくないとき、プリンタードライバー「ジョブ名を隠す」をオンにすることでRISOコンソールのジョブ名を*****表示にできます。

プリントの際も本体パネルでパスワード入力が必要となるため、ジョブ名を非表示にするだけでなく、出力物の取り忘れも防ぐことができます。

本機は、内蔵SSDに格納されるすべてのジョブデータおよび文書データを自動的に暗号化します。これにより、万が一SSDが物理的に持ち出された際の情報漏洩リスクを低減します。これらのデータは本機での利用時に自動的に復号されます。なお、本機能は「本機内部のストレージ保護」を目的としているため、USBメモリーや外部PCへ送信・保存されるデータ自体を暗号化するものではありません。

詳しくは 

[ユーザーズガイド | プリントモード | プリンタードライバーの設定項目 | 応用タブ]

スキャンの場合も、SSDに保存するとき、暗証番号をつけることができます。

詳しくは 

[ユーザーズガイド | スキャンモード | その他の便利なスキャンモード設定 | 暗証番号]

スキャンしたデータをPDFで保存する場合、PDFファイルにパスワードを設定することができます。

詳しくは 

[ユーザーズガイド | スキャンモード | スキャンモードの基本設定 | ファイル形式]

8. 各種機能制限

使用するユーザーを登録しログインが必要な設定にすることで、ユーザーごとに次の制限をかけることが可能になります。

- プリント・コピー・スキャンの各モードでのログインの禁止/許可
- カラーコピー、カラープリントの可否
- カラーコピー、カラープリントの使用枚数制限
- 単色コピー、単色プリントの使用枚数制限

【Webコンソールのユーザー設定画面のイメージ】

詳しくは [\[ユーザーズガイド | 本機の管理 | 管理者メニュー | RISOコンソールから設定する\]](#)

詳しくは [\[ユーザーズガイド | 本機の管理 | 管理者メニュー | \[ユーザー管理\] 項目一覧\]](#)

10. 不正操作追跡

アカウントリング情報を履歴ファイルに保存する設定にすれば、プリントジョブ、コピージョブ、スキャンジョブの終了状況、オーナー名処理時間、総ページ数、部数等が記録され、使用状況の記録が残ります。

【Webコンソールのアカウントリング情報画面のイメージ】

管理者メニュー アカウンティング情報

アカウントリング情報

アカウントリング情報を表示します。

カレント 履歴ファイル

ジョブ種類: [全表示] 表示件数: 10件

ダウンロード 削除 詳細表示

ジョブ名	状況	オーナー名	処理時間	ページ数	部数	ジョブ開始
COPY-0001	中断終了	Owner	00:00:00	1	1	2026/04/09 16:12
COPY-0002	中断終了	Owner	00:00:00	1	1	2026/04/09 16:13
Configuration	正常終了	RISO PRINTER	00:00:00	1	1	2026/04/09 16:05
Configuration	正常終了	RISO PRINTER	00:00:01	1	1	2026/04/09 16:05
Configuration	正常終了	RISO PRINTER	00:00:00	1	1	2026/04/09 16:04
Configuration	正常終了	RISO PRINTER	00:00:00	1	1	2026/04/09 16:05
Count Information	正常終了	RISO PRINTER	00:00:01	1	1	2026/04/09 16:04
SCAN-0002	正常終了	Owner	00:00:05			2026/04/09 16:12
SCAN-0003	正常終了	Owner	00:00:04			2026/04/09 16:12
Sample Image Page	正常終了	RISO PRINTER	00:00:01	1	1	2026/04/09 16:04

1 2

詳しくは 

[ユーザーズガイド] 本機の管理 | 管理者メニュー | [ユーザー管理] 項目一覧 | アカウンティング情報設定]

脆弱性開示ポリシー

当社製品およびサービスを安心・安全にご利用いただくため、当社では継続的なセキュリティ対策に努めております。

1) 脆弱性の報告方法

製品に関する脆弱性を発見された場合は、以下の受付窓口よりご報告ください。

<https://www.riso.co.jp/form/contact/index.php>

脆弱性の報告を受領後、担当者より受領確認のご連絡を差し上げます。なお、当社およびユーザーの安全確保を目的とした善意の報告者に対し、当社が法的措置を講じることはありません。

2) 脆弱性情報の取り扱い

報告を受領した脆弱性については、速やかに内容の確認と評価を行います。共通脆弱性評価システム(CVSS)および当社基準に基づき深刻度を判定し、必要な対策を検討・実施いたします。検討の段階で重要な脆弱性課題であると判明した場合には、必要に応じ報告者に連絡し、対策を行うまでの間、進捗を共有し連携することがあります。また、対策を行う場合にはWebサイトで情報を公開します。

3) 脆弱性情報の公開


脆弱性に関する情報は、以下のWebサイトにて公開いたします。

<https://faq.riso.co.jp>

セキュリティアップデートのリリース時には、アップデートの内容、必要性、および適用しない場合の影響を速やかに周知いたします。

4) 免責事項

セキュリティアップデートが提供された際、アップデートを適用せずに利用を継続された場合に生じるセキュリティ上のリスクや損害、および一般的に想定される事故や障害について、当社は責任を負いかねます。

●およびオルフィスは、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。
●詳しい操作方法は取扱説明書をご覧ください。●記載の内容は2026年7月現在のものです。

サポートセンター  **0120-229-330**

受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日・夏期休業・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.riso.co.jp/>

理想科学工業株式会社 本社 / 〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル